

学年	1	学科	全学科	使用教科書	VISTA English Communication I (三省堂)	単位数	3
科目の目標	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする基礎的な能力を養う。						
科目の評価の観点の趣旨	1. コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。【関心・意欲・態度】 2. 外国語で話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えている。【表現の能力】 3. 外国語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。【理解の能力】 4. 外国語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解している。 <div style="text-align: right;">【知識・理解】</div>						
学期	月	学習内容	学習目標	◆主な評価規準 【評価の観点】	●評価方法 ○資料等		
一学期	4	Lesson 1 A White Land ・ be 動詞 ・ 一般動詞	・ 南極大陸と私たちの生活がどう関連しているかを考えさせたい。	◆ 読んだり、聞いたりした内容についての 質問に英語で答えられる。 ◆ 辞書を活用し、自主的に学習ができる。	●○ワークシート ●観察 ●発表 ●考查 ●ワークブック ●ノート		
	5	Lesson 2 Skiing in the Desert ・ 疑問文	・ 日本から遠く離れたアラブ首長国連邦のひとつ、ドバイについて考えさせたい。	◆ be 動詞や一般動詞を使って表現することができる。			
	6	Lesson 3 Is Bento English? ・ 助動詞 ・ 過去形	・ 「弁当」をはじめとした日本文化が、日本語のまま海外で親しまれていることを読み取らせたい。	◆ 疑問文を使って英語で質問し、答えることができる。 ◆ 現在進行形を使って表現することができる。			
	7	リスニング英検対策 Lesson 4 Mont-Saint-Michel ・ SVO(=that ~) ・ SVOO, SVOC	・ 10月の検定試験に向けて継続的に指導を行い、専門用語を理解させたい。	◆ 助動詞の意味の違いを理解し、表現することができる。 ◆ 過去形の形式・意味・用法を理解し、表現することができる。 ◆ I think that ~ の構文を使って自分の考えを言える。 ◆ SVOO, SVOC の構文が理解できる。			
二学期	8	リスニング英検対策	・ リスニング問題をできるだけ多く聞かせ、実践的な指導を行ないたい。	◆ 読んだり、聞いたりした内容についての質問に英語で答えられる。	●○ワークシート ●観察 ●発表 ●考查 ●ワークブック ●ノート		
	9	Lesson 5 Baobabs in Madagascar ・ 不定詞	・ バオバブが直面している問題を知り、どうしたら保護できるかを考えさせたい。	◆ 辞書を活用し、自主的に学習ができる。			
	10	Lesson 6 Tooth brushing in Edo ・ 動名詞	・ 江戸時代の生活習慣（歯磨き）について読み取らせたい。	◆ 不定詞の3用法の区別が理解できる。			
	11	Lesson 7 My Rules ・ 現在完了形	・ 和田毅投手のワクチン寄付活動を知り、自分たちにできるボランティア活動を考えさせたい。	◆ 動詞と動名詞の違いを理解できる。 ◆ 現在完了形を使った表現の意味・用法を理解し、表現することができる。			
12	Lesson 8 Motala and Landmines ・ 受動態	・ 人間のおこなっていることのような面をモタラの話が象徴しているかを考えさせたい。	◆ 受動態の形式と意味を理解し、表現することができる。				
三学期	1	Lesson 9 Dick Bruna ・ 関係代名詞	「ミッフィー」でおなじみのディック・ブルーナの社会的役割について読み取らせたい。	◆ 読んだり、聞いたりした内容についての質問に英語で答えられる。	●○ワークシート ●観察 ●発表 ●考查 ●ワークブック ●ノート		
	2			◆ 辞書を活用し、自主的に学習ができる。			
	3			◆ 関係代名詞節と先行詞の関係が理解できる。 ◆ 関係代名詞を使って表現することができる。			

実施内容と実施時期ならびに実施順序については、一部変更になる場合があります。

「英語・コミュニケーション英語Ⅱ」 シラバス

福島県立福島工業高等学校

学年	2	学科	全学科	使用教科書	VISTA English Communication Ⅱ(三省堂)	単位数	2
科目の目標	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする基礎的な能力を養う。						
科目の評価の観点の趣旨	1. コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。 [関心・意欲・態度] 2. 外国語で話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えている。 [表現の能力] 3. 外国語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。 [理解の能力] 4. 外国語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解している。 [知識・理解]						

学期	月	学習内容	学習目標	◆主な評価規準 【評価の観点】	●評価方法 ○資料等
一学期	4	Lesson 11 Ideas from Nature ・分詞構文	本文を読み、自然界からヒントを得て作られたものが私たちの暮らしを便利にしていることを知らせたい。	◆ 分詞構文を利用して、読み手や聞き手の注意を引く表現ができる。 ◇ 分詞構文の作り方や意味を理解させる。	●○ワークシート ●観察 ●発表 ●考査 ●ワークブック ●ノート
	5	Lesson 12 The Power of Words ・仮定法過去	キング牧師とオバマ大統領の話から、言葉が持つ力を知り、世界の人々がそれぞれの主張を言葉に表すことの大切さを考えさせたい。	◆ 仮定法過去を使って、自分の考えなどを述べることができる。 ◇ 仮定法過去の文の時制を理解させる。	
	6	Lesson 1 World Breakfasts ・疑問詞で始まる節 ・if で始まる節	本文を読み、3つの国の朝食から、その国の文化や歴史を知らせたい。	◆ 疑問詞やifで始まる節を用いて、疑問や不明であることを伝えられる。 ◇ 疑問詞やifで始まる節の語順に留意させる。	
	7	Lesson 2 The Emerald Isle ・比較級 ・原級を用いた比較	本文を読み、アイルランドの言語や文化、日本との共通点を知らせたい。	◆ 比較の表現を用いて、様々なものを比べられるようになる。 ◇ 原級と比較級の活用形が分かるようにする。	
二学期	8	Lesson 2	本文を読み、さかなクンが幼いころから培ってきた知識と探究心が、大発見につながったことを知らせたい。	◆ 過去分詞と現在分詞を使い分けることができる。 ◇ 過去分詞と現在分詞の違いを理解させる。	●○ワークシート ●観察 ●発表 ●考査 ●ワークブック ●ノート
	9	Lesson 3 Sakana-kun ・名詞を修飾する過去分詞 ・名詞を修飾する現在分詞	本文を読み、国際的権威のある賞のひとつノーベル賞についてのこぼれ話を知って関心を深めさせたい。	◆ 知覚動詞や tell ~ to do などの形を使って表現できる。 ◇ 知覚動詞の形や tell ~ to do などの形に慣れさせる。	
	10	Lesson 4 Nobel Prize Episodes ・知覚動詞 ・tell ~ to do			
	11				
三学期	1	Lesson5 Flowers in the Tomb ・使役動詞 ・関係代名詞 what	ハワード・カーターがツタンカーメンの墓で最も美しいと思ったのは何だったかを本文から読み取り、その理由を考えさせたい。	◆ 知覚動詞や関係代名詞の what を使った表現ができる。 ◇ 使役動詞の形や関係代名詞 what の使い方に慣れさせる。	●○ワークシート ●観察 ●発表 ●考査 ●ワークブック ●ノート
	2				
	3				

実施内容と実施時期ならびに実施順序については、一部変更になる場合があります。

「英語・コミュニケーション英語Ⅱ」 シラバス

福島県立福島工業高等学校

学年	3	学科	全学科	使用教科書	VISTA English Communication Ⅱ(三省堂)	単位数	2	
科目の目標		英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする基礎的な能力を養う。						
科目の評価の観点の趣旨		1. コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。 [関心・意欲・態度] 2. 外国語で話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えている。 [表現の能力] 3. 外国語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。 [理解の能力] 4. 外国語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解している。 [知識・理解]						
学期	月	学習内容	学習目標	◆主な評価規準 【評価の観点】	●評価方法 ○資料等			
一学期	4	Lesson 6 Unique Countries ・ how to do ・ it seems that～	本文を読み、小さい国、小さい島国、小さい大陸はどこかを知らせたい。	◆ 疑問詞+to 不定詞を使って、伝えたいことを表現できる。 ◇ 疑問詞と不定詞の組み合わせに慣れさせる。 ◆ it seems that～を使って、自分の考えなどを述べることができる。 ◇ it seems (that)節の語順に慣れさせる。	●○ワークシート ●観察 ●発表 ●考査 ●ワークブック ●ノート			
	5							
	6	Lesson 7 The Galapagos Islands ・ 現在完了新進行形 ・ 形式目的語 it ・ 原級を用いた比較	今、ガラパゴス諸島に起こっているのはどんなことかを、本文から読み取る。	◆ have been ～ing を使って自分の行動を表現できる。 ◇ 現在完了形と現在完了進行形を使い分けられる。 ◇ 形式目的語 it と代名詞 it の違いを理解させる。 ◇ 形式主語 it と形式目的語 it の違いを理解させる。				
二学期	8	Lesson 8 Shodo, Old and New ・ 部分否定 ・ can be done	本文を読み、伝統文化を新しいスタイルで発展させることについて考えさせたい。	◆ 否定文の中の否定語を理解し、内容を正確に捉えられる。 ◇ 部分否定の訳し方に注意させる。	●○ワークシート ●観察 ●発表 ●考査 ●ワークブック ●ノート			
	9							
	10	Lesson 9 Water World ・ 関係代名詞の非制限用法 ・ have been done	本文を読み、昔の水族館と現代の水族館について知り、現代技術の果たした役割を考えさせたい。	◆ さまざまな助動詞+受け身の形が使える。 ◆ 関係代名詞の制限用法と非制限用法を使い分けて表現できる。				
三学期	11			◆ さまざまな現在完了形+受け身の形が使える。				
	12							
	1	Lesson 10 A Long Friendship ・ 過去完了形 ・ 強調構文	日本とトルコの友好関係を本文から読み取り、協調、共生のためにはどんな心がけが必要かを考えさせたい。	◆ 現在完了形と過去完了形が使い分けられる。 ◆ 過去形と過去完了形が使い分けられる。 ◆ 強調構文の内容を理解し、日本語に訳せる。 ◇ 強調構文の形に慣れさせる。	●○ワークシート ●観察 ●発表 ●考査 ●ワークブック ●ノート			
2								
3								

実施内容と実施時期ならびに実施順序については、一部変更になる場合があります。